

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会 長 函 師 義 孝
 副 会 長 石 田 喜 克
 幹 事 山 口 順 一
 例 会 日 毎 週 木 曜 日 12:30~
 例 会 場 ホ テ ル 泉 屋 2F
 事 務 所 宮 崎 県 児 湯 郡 高 鍋 町 大 字 北 高 鍋 1368-4
 ホ テ ル 泉 屋 内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1776 回 平成 25 年 2 月 28 日 プログラム

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| 日も風も星も | 9. 外部卓話 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | 12. |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 山下 皓三

中部分区ガバナー補佐 池田 豊繁

2730 地区テーマ

夢・誇り・挑戦 (素晴らしいロータリーの再生)

高鍋ロータリークラブテーマ

「絆」 原点を見つめて一思いやりの心で

2月の月間テーマ

世界理解月間

本日の例会案内

*外部卓話—畠山茂子様

*100 万ドル

次週例会案内； 3月7日 (1777回)

*月初めのセレモニー *会員卓話—関正夫君

*池田ガバナー補佐来訪 *米山ランチ *理事会

第 1775 回 例会内容

■会長の時間

会長 函師義孝君

皆さんこんにちは。一週間のご無沙汰でございます。

先日宮崎ロータリークラブの創立 60 周年記念式典に山口幹事と藤本前幹事の 3 人で行ってきました。

内田五郎会長の挨拶で、昭和 28 年 2 月 17 日最初の点鐘がなされて以来、60 年。毎週火曜日の 12 時 30 分に開会。脈々と引き継がれてきた宮崎ロータリークラブの歴史と伝統に対し、私は心から敬意の念を抱かずにはいられません。

岩切章太郎初代会長をはじめとする 39 名のチャーターメンバー、そして故人となられた多くの会員、また、かつて在籍された会員の皆様のロータリークラブに対する真摯な想いは現会員にもしっかりと受け継がれております。宮崎ロータリークラブの歴史を再確認し、感謝と敬意の心を持たなければならない 60 周年式典だったと思います。祝賀会では、姉妹クラブの山形から舞妓さん芸妓さんも参加され、有名なシェフの料理で大変盛り上りました。以上報告で会長の時間と致します。

今日もロータリーを楽しんで下さい。



■幹事報告

幹事 山口順一君

<文書案内>

*3月のロータリーレート

1 ドル=92 円

*西都 RC3 月例会案内

3/5 クラブフォーラム

3/12 PETS 報告

3/19 観桜会(夜間例会)

3/26 会員卓話

*佐土原 RC3 月例会案内

3/6 フォーラム・会員卓話 3/13 創立 25 周年記念式典

3/20 祝日休会 3/27 会員卓話

*宮崎ロータリークラブ創立 60 周年記念式典のお礼

*鹿児島西ロータリークラブ創立 50 周年記念のご案内

*前会長幹事会 (2011-12 年度) 開催のご案内

日時 25 年 3 月 13 日 19:00~ 場所 「にしおか」



■出席報告

出席委員 石井秀隣君

出席状況

会 員 数	50 名
出席会員数	43 名
ホーム出席率	86.00%
前々回修正出席率	85.71%



■BOX披露

親睦活動委員長 橋口清和君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

凶師義孝君 斧淵裕史様をお迎えして。今日は宜しくお願ひ致します。

岡島達雄君 斧淵日銀宮崎事務所長のお話し楽しみにしています。本音をお聞かせ下さい。

藤本範行君 斧淵様ご苦労様です。ようこそ高鍋RCへ。今日は卓話を楽しみにしております。宜しくお願ひします。



☆外部卓話

日銀宮崎事務所 所長 斧淵裕史様



皆さんこんにちは。本日はこのような機会を頂き誠にありがとうございます。昨年の4月に着任し、7月には宮崎RCに入会させて頂いております。

本日は、日本銀行の機能と沿革についてお話し、「温故知新：古事記編さん1300年に思う」に触れながら、宮崎の印象等について申し上げたいと思います。

端的に言うと、日本銀行は、我が国の中央銀行としてお札（日本銀行券）の発行をしています。また、物価の安定と金融システムの安定に努めています。

日本銀行は1882年（明治15年）に創設。今年131年になります。日本銀行本店の本館は、1896年（明治29年）に5年半の歳月をかけて完成し、1974年（昭和49年）に国の重要文化財に指定されました。重要文化財に指定されている本店本館では、旧地下金庫、旧営業場の見学ができます。本店の情報サービス局というところが窓口になり、日本銀行にある貨幣博物館も見学できます。

日本銀行は、我が国唯一の「発券銀行」として、お札（日本銀行券）の発行・流通・管理に関する仕事を行っています。

お札は、国立印刷局（独立行政法人）で製造されています。製造されたお札は、日本銀行が引き取り、本店や支店に保管します。その後、日本銀行の窓口から金融機関を通じて世の中に送り出されます。因みに貨幣は、国（財務省）が発行しています。

世の中に送り出されたお札は、個人・企業などにより様々な目的に利用された後、金融機関を経由して日本銀行に戻ってきます。このように日本銀行や金融機関は、

お札が全国各地にくまなく行き渡るようにするための流通拠点の役割を果たしています。

日本銀行に戻ってきたお札に対しては、真偽鑑定や損傷度合いの検査が行われ（これを鑑査という）鑑査の結果、再度の流通に適さないものは廃棄（こまかく切り刻み、一部は建材などリサイクルされる）流通に適するものは、新しいお札とともに再び日本銀行の窓口から世の中に送り出されます。

お札（日本銀行券）には、様々な偽造防止策を施してあります。これは国民の皆さんが安心してお札が使えるようにするための工夫で、日本のお札の偽造対策レベルは世界のトップレベルにあるといわれています。

国民の皆さんに安心してお札を使ってもらうためには、お札の値打ちが安定している事、物価の安定が必要です。

日本銀行は、国民生活の安定や経済の持続的な発展のために、金融政策を通じて物価の安定に努めています。

金融政策とは、短期金融市場の金利を操作することなどを通じて、経済がインフレやデフレに陥ることを防ぐ政策のことです。金融政策運営の基本方針は、日本銀行政策委員会の金融政策決定会合において決定されます。

政策委員会のメンバーは、総裁、副総裁2名、審議委員6名の合計9名で構成されており、毎月1～2回開催しています。（2012年は、年間14回開催）

今回の日本経済はデフレの状態にあるので、日本銀行はこれまでも強力な金融緩和政策をとってきていますし、皆さんも新聞やTV報道等でご存知でしょうが、昨年末の安倍政権発足後、1月の金融政策決定会合では、これまでよりもさらに強力な金融政策をとることを決定しています。

金融システムの安定とは、お金のやり取りが、効果的かつ安全に行われる状態をさします。日本銀行はお札を円滑に流通させ、本支店と金融機関を結ぶコンピューター・ネットワーク・システム（日銀ネットという）を運営しています。日銀ネットは、毎日100兆円を超える決済を行っています。日本銀行に当座預金を持つ金融機関の経営実態把握（検査やヒアリング等）を行い、最後の貸し手機能として金融機関の支払いが出来なくなるとか他の金融機関に悪影響を及ぼす恐れが強まった場合に、そうした事態を防ぐためにお金を貸し出します。

日本銀行宮崎事務所は、昭和21年2月に駐在員事務所として開設され、昭和23年2月に「事務所」に名称変更し、今年2月で67年目になります。「現場の第一線」で遂行・補佐する立場にあり「地域経済の健全な発展を縁の下から支える役割」を果たしています。

最後に、みやざき経済研究所2013年1月号に寄稿した「温故知新・古事記編さん1300年に思う」（配布資料）の内容に沿って宮崎の印象を申し上げます。一言で言うと、宮崎には観光や食材などに関していいものがたくさんありますが、古事記編さん1300年イベントについて触れているように、PR不足でうまく活かしきれていないように思います。宮崎の魅力についてもっと自信を持って力強くPRして頂きたいと思います。